

プロバグループ 平本将人社長が死去

プロバグループの平本将人社長が9月29日、心不全のため死去。享年87。10月4日には広島市の平安祭典広島会館において、告別式が執り行なわれた。故人の略歴は以下の通り。

■職歴

1966年、西武鉄道赤坂プリンスホテル入社。70年、ニューヒカリ(現プロバ)専務取締役就任。79年、ヒカリエンタープライゼス(現プロボックス)代表取締役社長。80年、サンモール常務取締役。81年、ニューヒカリ(現プロバ)代表取締役社長。82年、サンモール代表取締役専務。83年、ジョイ代表取締役社長。95年、サンモール代表取締役社長に就任。

■役職

1991年、日本遊技関連事業者協会中国支部支部長に就任。91年、全日本アミューズメント施設営業業者協会連合会中国地区協議会会長。92年、日本カオケスタジオ協会理事。94年、全日本アミューズメント施設営業業者協会連合会副会長。94年、日本遊技関連事業者協会副会長。97年、日本遊技関連事業者協会会長。2001年、日本遊技関連事業者協会相談役。05年広島被害者支援センター副理事長に就任。

サンセイアールアンドディ 「牙狼」プレス向け試写会開催



劇場版「牙狼 RED REQUIEM」のプレス向け試写会が9月28日、名古屋市内のシネマ100名古屋で行われた。映像はフルデジタル3Dを採用し、迫力あるアクションシーンを実現

した。試写会当日は雨宮慶太監督が訪れ、サンセイアールアンドディの宮越奈緒さんが花束を贈呈した。10月30日から全国公開予定。

電子認証システム協議会 下口二郎氏が代表理事に

9月21日に開催された定時社員総会ならびに理事会において、下記の通り役員が選任された。

代表理事 下口二郎	理事 上池 忠
副代表理事 木原 海龍	理事 吉村 泰彦
専務理事 広瀬 清(新任)	理事 川上 豊(新任)
理事 酒井 昌弥	監事 原田 實

なお、代表理事の川口昌則氏は退任し、相談役に就任

RSN 男性の遊技開始年齢 「30代までに」9割

リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)は8月における電話相談内容をまとめた。8月に受けた電話相談件数は95件。そのうち悩みを抱えている本人の割合は約8割だった。男女比は男性7割に対し、女性は3割だった。パチンコを開始した年齢には性別で大きな違いがあり、男性は10代~30代の間で開始した割合が9割を占める。一方、女性は20代が一番多いものの、各年代に大きな差は見られない。女性は比較的どの年代からでもパチンコを始める傾向にあるという。



お客とのコミュニケーションも増えたという尾崎主任

サービス介助士とは2000年にスタートした資格制度で、NPO法人日本ケアフィットサービス協会が認定する民間資格。高齢者や身体に障害のある人が安心して社会に参加できる環境を整えるために、「おもてなしの心」と「介助技術」を学ぶ。高齢化の進展やバリアフリー法の施行を受けて、社員教育の一環としてサービス介助士検定制度を取り入れる企業や団体が増えている。近年ではホテルやレジャー産業での資格取得が進み、2010年9月時点で約400の法人・団体、約7万2000人がサービス介助士2級の資格を取得している。ホール企業では4社、約300人が取得。有資格者が働く場所には「安心のサービス介助マーク」が貼付され、サービス介助士の存在をアピールできる。

れまで以上に気配りができるようになった。これまで声を掛けづらかった杖をつく年配のお客様や障害のあるお客様にも自然に声かけができるようになり、会話する機会も増えた」と資格を取得した手応えを感じている。

ある日、松葉杖を使用するお客が来店。台運びのために玉箱で溢れる通路を移動する姿を尾崎主任が見つつけ、心配して後ろを歩いていたら、突然バランスを崩した。資格を取得する際に学んだ対処法を活かし、とっさにお客の脇の下に腕を入れて難を免れたという。

サービス介助士の資格を取得したことで接客に自信が持てるようになった。

女性プロジェクトチームのリーダーを務める植本正子氏は「サービスの向上は永遠のテーマ。これだけやったから完璧」という基準がないので、常に改善していかねばならない。現状に満足することなく、女性プロジェクトチームで新たな施策を提案していきたいと意気込みを語った。

来店された時は、誰かが必ずフォローする体制ができた」

同社では年1回、顧客満足度調査を行っているほか、女性プロジェクトチームが発案した、お客の投票による接客No.1コンテストを開催して、さらなるサービスの向上に努めている。